

2 債務超過を解消する

Q. 債務超過をどのように解消するか？

要旨 債務超過状態である会社は、恒常的に利益が赤字になっていることが多いでしょう。赤字の原因を究明し対策を講じなければ根本的な解決につながりません。利益が出る会社にすることが何よりも重要です。

その上で債務超過状態を解消するための4つの方法を組み合わせて、早期に債務超過状態を解消する計画を策定すべきでしょう。

解説

1. 債務超過になった原因を分析する

債務超過は、赤字の累積により、積み上げた自己資本を食いつぶすことによって生じます。設立間もない企業であれば、自己資本が少ないため債務超過状態になり易い反面、一時的である可能性も高く、恒常的な問題にならない場合もあります。

反面、設立から相当期間経過している企業については、自己資本を食いつぶすまでの赤字が常態化している可能性が高く、一過性のものかどうか検証し、会社の再生・再編が必要かどうか見極める必要があります。

できなければ、根本的な解決にはなりません。

②債務免除を行う場合には課税関係に注意する

債務超過状態を解消するために、債務免除を行う場合には、会計上収益として計上され、課税の対象となることに注意が必要です。債務超過状態になるまでの期間に赤字を積み上げた結果、税務上の繰越欠損金が残っている場合には、その範囲では課税されません。繰越欠損金の期限が切れてしまっている場合には課税されるため、債務免除を行う前には税務上の繰越欠損金の残高を確認する必要があります。

2. 債務超過状態を解消する4つの方法の 注意点

①4つの方法とは

債務超過を解消するためには(イ)自社の利益を上げる、(ロ)増資する、(ハ)DES（デット・エクイティ・スワップ）をする、(ニ)債務免除をする、の4つの方法があります。(ロ)(ハ)(ニ)は応急処置でしかなく、一時的に債務超過状態が解消されたとしても、企業の赤字体質を改善しなければ、再度債務超過状態に逆戻りする可能性があります。そのため、会社の収益性をあげ利益を計上することが

債務超過を解消する4つの手段

＜ご提案のポイント＞

- ・債務超過状態は倒産予備軍です。早期解消できるように策を講じる必要があります。
- ・債務超過を解消する手段は4つあります。第一は会社の収益力を上げ利益を生み出すことができる体質に改善することが必要です。
- ・利益獲得に時間がかかる場合には、4つの方法を組み合わせて計画的に解消する方法を検討しましょう。

1. 債務超過の状態とは

債務超過とは資産より負債が大きくなり、自己資本がマイナスになっている状態をいいます。債務超過状態であっても、資金が回っていれば倒産することはありません。ただし一般的には、債務超過は資産より負債が大きい状態のため、すべての資産を現金化しても、すべての負債を支払うことができないことを意味し、いつ倒産してもおかしくないと判断されてしまうこともあります。そのため、金融機関や売上・仕入先との取引に支障が生じることにもなりかねません。

2. 債務超過状態を解消するための4つの方法

債務超過状態を解消するためには、「資産＜負債」の状態を、「資産＞負債」にしなければなりません。それには、①資産を大きくするか、②負債を小さくするかしかありません。次の4つの方法のうちどれかを採用して債務超過を解消することは難しく、それぞれを組み合わせることで債務超過を解消します。また、その際には課税の問題にも注意が必要です。

(イ) 自社の利益を上げる

自社の利益を上げ、利益によって資産を増やすか、負債を減らすことが最も効果的な改善策です。

(ロ) 増資する

増資は、負債を増加させずに、資産を増加させることができます。ただし、増資のみで債務超過を解消しようとすると、資産と負債の差額以上の金額を増資しなければならず、株主の負担が大きくなる可能性があります。

(ハ) DES（デット・エクイティ・スワップ）をする

DESとは、債権者が保有している債権を株式に振り替えることをいいます。会社からみれば、債務を株式に振り替えるため、負債を圧縮することができます。

(ニ) 債務免除をする

負債の中に経営者やオーナーからの借入金がある場合には、その借入金の返済義務を放棄してもらうことで、負債を圧縮することができます。